

- ⑤そして、エンジン下部にロアカバーを設置し、その内側に吸音材を設けることで、エンジン騒音を低減しています。



- ⑥スプロケットカバーの後ろ面に吸音材を貼り付けフレームとの隙間を埋めることにより、ドライブチェーンの騒音を防音しています。



●将来の技術

CAE※による消音構造の最適化、軽量で高い消音性能の吸音材や制振材の効果的な配置など、より軽量で効果の高い騒音対策技術を開発中です。

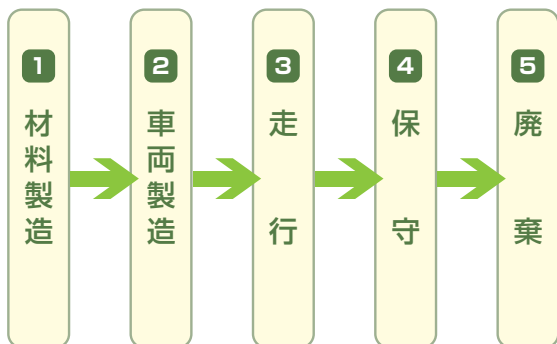
また、精度の高い実験を行うための設備導入を行い、より効率的な開発を進めていきます。

※CAE：Computer Aided Engineering
コンピュータ技術を活用して製品の設計、製造や工程設計の事前検討の支援を行うこと。

07 LCA (Life Cycle Assessment: ライフ・サイクル・アセスメント)

スズキは材料製造から廃棄されるまでのスズキ製品の生涯における環境負荷を評価するために、LCAを導入しています。08年度は、ワゴンR、スイフトなど複数の車種のLCA評価を行いました。以下のグラフは、ワゴンRの生涯におけるCO2排出割合を示したもので、走行段階で発生するCO2が生涯に発生するCO2の約80%を占めています。

●スズキのLCA評価ステージ



●ワゴンRの生涯における各ステージのCO2排出割合

